

令和7(2025)年度 国立歴史民俗博物館特別共同利用研究員募集要項

1. 概要

大学の要請を受けて、当該大学より推薦された大学院生に対し、本館教員が研究指導を行う制度です。

2. 募集人員

若干名

3. 受入資格

大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、文献史学、考古学、民俗学及び自然科学を含む関連諸学に関する分野を専攻する学生。

4. 受入期間

令和7(2025)年4月から令和8(2026)年3月までの1年間です。

なお、博士課程の後期課程(区分を設けていない博士課程にあつては、これに相当する課程)に在籍する学生に限り、延長を認めることがあります。

5. 受入場所

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町117番地)

6. 指導教員及び研究指導項目

別紙のとおり

7. 提出書類

- (1) 当該学生が所属する大学院の研究科等の長の委託依頼書(様式1)
- (2) 当該学生が所属する大学院の指導教員の推薦書(様式2)
- (3) 当該学生の履歴書、研究業績書(様式3)

8. 提出期限

令和7(2025)年1月10日(金)必着

注：事前に、所属する大学院の指導教員ならびに本館の指導教員と受入れについて十分相談し、了承を得た上で申請してください。

9. 書類提出先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課 宛

E-mail: hokoku@ml.rekihaku.ac.jp (研究協力課 研究協力係)

※郵送の場合は、書留を利用すること

10. 受入れの決定

本館内で審査の上、結果を当該大学院研究科等の長及び本人に通知します(令和7年2月末予定)。

11. 研究指導に係る費用

研究指導にかかる費用は徴収しません。

12. その他

- (1) 本館では学位論文の作成等の研究指導を行い、当該大学院および本人宛、研究指導の修了を通知します。これを受けて、学位論文の審査や学位の授与、修得単位の認定等は当該学生が在籍する大学院が行います。
- (2) 本館では、災害補償制度は準備していません。あらかじめ在籍する大学院において、日本学生支援機構の行っている学生教育研究災害傷害保険等に加入してください。
- (3) 本館敷地内に宿泊施設(有料、事前予約制)があります。

国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課研究教育係 kenkyo@ml.rekihaku.ac.jp

れきはくHP <https://www.rekihaku.ac.jp/>

特別共同利用研究員 https://www.rekihaku.ac.jp/research/education/special_researcher/

指導教員及び研究指導項目

教員名	研究指導項目
青木隆浩	近現代の商家研究, 社会規範研究
天野真志	日本近世・近代の学問と政治・文化に関する研究, 地域資料の保存と継承に関する研究
上野祥史	古代東アジアの墳墓と金工品の考古学研究
内田順子	近代日本における映像民俗学 (映画技術, 作品の歴史的・文化的背景, 民俗学との関わり)
大串潤児	戦時戦後 (20世紀), 地域社会における青年や女性の社会文化運動を中心とする日本現代史
川村清志	祭礼, 民俗芸能を中心とした民俗文化
工藤航平	日本近世地域史, 知識の形成・共有・継承と社会変容に関する研究, 民間の編纂物・蔵書
小池淳一	民俗信仰の史的研究, 口承文芸の研究, 読み書きと民俗をめぐる学際研究, 日本民俗学史に関する研究
小瀬戸恵美	自然科学的手法による歴史・文化財資料の材質分析と産地推定
後藤真	人文情報学・特に日本史学に対して情報技術を応用した研究
齋藤努	自然科学的な手法を用いた歴史資料の材質, 物性, 製作技法, 原料の産地などに関する研究
坂本稔	炭素14年代法
佐川享平	炭鉱における労働社会史, 炭鉱関係資料の保全・活用
澤田和人	日本の染織史
島津美子	自然科学的手法 (顕微鏡観察, 元素分析など) による彩色材料の材質分析 (顔料, 染料など)
鈴木卓治	博物館における研究・展示・広報を支援する情報システム (ソフト・ハード) の研究, 色彩と画像の情報処理
関沢まゆみ	社会と儀礼に関する民俗学的研究, 高度経済成長と生活変化
高田貫太	外来系の考古資料に基づく古代 (主に弥生～古墳時代) の日朝関係史
中村耕作	先史社会におけるモノ・身体象徴・認識論 (主に縄文土器・葬送・家屋)
箱崎真隆	年輪年代法, 酸素同位体比年輪年代法, 炭素14スパイクマッチ法, 木材樹種同定
橋本雄太	人文情報学, 特に歴史研究や歴史教育の支援を目的としたWebシステム開発
林部均	古代宮都の研究, 古代地域社会の研究
樋浦郷子	帝国日本の教育と宗教
樋口雄彦	明治期の社会・文化と旧幕臣の動向
日高薫	蒔絵を中心とする漆工芸史
福岡万里子	幕末外交史, 19世紀東アジア国際関係史, 日欧交渉史
松尾恒一	民俗宗教, 民間信仰の研究, 職能者の祭儀と呪術, 寺社の儀礼研究, 東アジアにおける異文化の接触と変容の研究
松木武彦	古墳時代の考古学的研究, 武器と戦争の考古学的研究, 進化・認知科学に基づく理論考古学
松田陸彦	生業の技術・信仰・人の移動
三上喜孝	出土文字資料を中心とした古代東アジア文字文化の研究
村木二郎	中世日本の流通・技術・信仰に関する考古学的研究
山田慎也	死と葬送儀礼の近代化に関する研究
吉井文美	近代日本外交史・近代東アジア国際関係史
吉村郊子	生業と環境利用の変遷に関する人類学的研究
若木重行	金属元素同位体分析手法の開発と歴史資料研究への応用 (産地・食性等), 自然科学的手法による地球史・人類史の解説
鷲頭桂	日本中世・近世の絵画史, 日本美術における対外交渉史

*指導教員は, 人事異動等により変更する場合があります。